

黄色いおでん屋 活動報告書

福井大学 工学部 建築・都市環境工学科 4年

西山 正剛(18230431)・成田 悠真(18230415)



ふくみちプロジェクトへの参加

○ふくみちプロジェクト概要

北陸新幹線の福井開業を控え福井駅周辺の大規模な再開発が進む中、まちなかを車中心からひと中心の空間へと転換し人々が集い憩い多様な活動が繰り広げられる場へと変えていくことが求められている。訪れる人や通勤通学者にとってより快適な歩行者空間を創出するために、福井市とまちづくり福井株式会社が主体となってほこみち制度導入に向けた取り組みが始まった。

○ワークショップ参加

第1回ワークショップ / 9月3日 (金)

- ・理想的な歩行空間にするためのアイデア出し
- ・地権者や周辺関係者との話し合い

第2回ワークショップ / 9月13日 (月)

- ・テーマを絞ったアイデア出し
- ・第1回ワークショップ内容のブラッシュアップ
- ・おでん屋出店のための打ち合わせ・調整



○社会実験としてのふくみちへの屋台出店 (期間：2021年10月2日～17日)

場所：日刊県民福井ビル前の歩道 (駅前中央大通り沿線)

時間：17時～20時



○ふくみちを終えて

- ・普段はそのまま通り過ぎてしまうような歩道に屋台を設置することで、そこで足を止める人が増えた。歩行者利便増進道路制度（ほこみち制度）の将来的な可能性を感じた。
- ・大学生でこういったイベントに参加できたことは今後まちづくりに携わるうえで貴重な経験となった。
- ・出店してみて出店者側の気持ちを理解することができた。
- ・まちの人やまわりの出店者との交流が生まれた。

○改善点、気になった点

- ・設置してあった空間に夜中に治安が悪くなるような滞在があった。オープンにするとこの取り締まりの強化が必要だと思った。
- ・夜間は照明が乏しく、道路空間の演出として物足りなさが否めなかった。賑やかな街通りを演出する上で、道路空間の彩ることは大切なので、出店者頼りではなく主催者側が植栽や照明を設置するなどして綺麗な道を作ってほしい。
- ・周辺の地権者や経営者の理解がもっと必要だと思わせるシーンがいくつかあった。住む人・使う人みんなが街を盛り上げるというそれぞれの意識が大切。